

# 大阪府立北摂自然公園 竜王山地区



竜王山の全景

里山景観を中心として優れた自然景観が多く残されている北摂地域において、茨木市のランドマークとなっている竜王山を大阪府立北摂自然公園に指定しています。

大阪府北部農と緑の総合事務所

協力 茨木市  
見山地区都市農村交流活動推進委員会

## 八大龍王宮の由来

宝亀年代（西暦770～780）畿内<sup>註</sup>は大旱魃に見舞われ、人々は塗炭の苦しみに喘ぎ餓死する者が続出した。

当時若くして出家、北摂の山々<sup>註</sup>にこもり荒修行をされていた光仁天皇の御子開成皇子<sup>註</sup>（724～781）はこのことを見聞され、竜王が棲むというこの山に登って池を掘り護摩を焚き般若心経を唱え、名の異なる八柱の竜神<sup>註</sup>を招請し慈雨を降らしめ給い、五穀はよみがえり多数の庶民を救われた。

以来旱魃のときには幾度となくこの池のほとりに壇を設けて、雨乞いのための祈祷が行われるようになった。

現在の池は当初掘られた池の跡であり、社殿も往時の祠跡に建立されたものだといわれている。

池の傍らには宝池寺<sup>註</sup>があり、明治初期より八大竜王宮を管理祭祀してきた。

（註）  
京都周辺の山城、大和、河内、和泉、摂津の五カ国のこと。

勝王寺（現勝尾寺）を主として複数の北摂の山岳寺院。神亀元年生まれ。桓武天皇の庶兄。大般若経書写に精進し道場弥勒寺を建立、その膨大な般若経を奉安した。天応元年10月4日没。享年58。墓所は勝尾寺に現存する。

難陀龍王 跋難陀龍王 沙伽羅龍王 和修吉龍王 徳叉迦龍王 阿那婆達多龍王 摩那斯龍王 優鉢羅龍王

安永3年（1774）融通念仏宗の総本山大念仏寺の僧弁応上人により開基。本尊に阿弥陀如来を安置。

### 【追記】

毎年2月3日には節分会が厳修され、この日は大勢の信者などで賑わう。また毎年7月の第2土曜日の夜には地元の人々による提灯行列が登山し、八大竜王に献灯するのである。



八大竜王宮

## 竜王山地区の整備概要

平成13年8月31日	大阪府立北摂自然公園指定(185ha)
平成14～16年度	竜王山地区森林空間総合整備事業 (森林整備・林内作業場ほか)
平成14年度	東海自然歩道再整備事業(展望台)
平成15年度	東海自然歩道再整備事業(トイレ)



大阪平野を一望できる竜王山山頂木製展望台  
(高さ 13m)



木製林内作業場  
(ゴンゴンファクトリー内)



東海自然歩道公衆トイレ  
(宝池寺横)



東海自然歩道



森林整備(間伐)



茨木自然歩道